2015-01

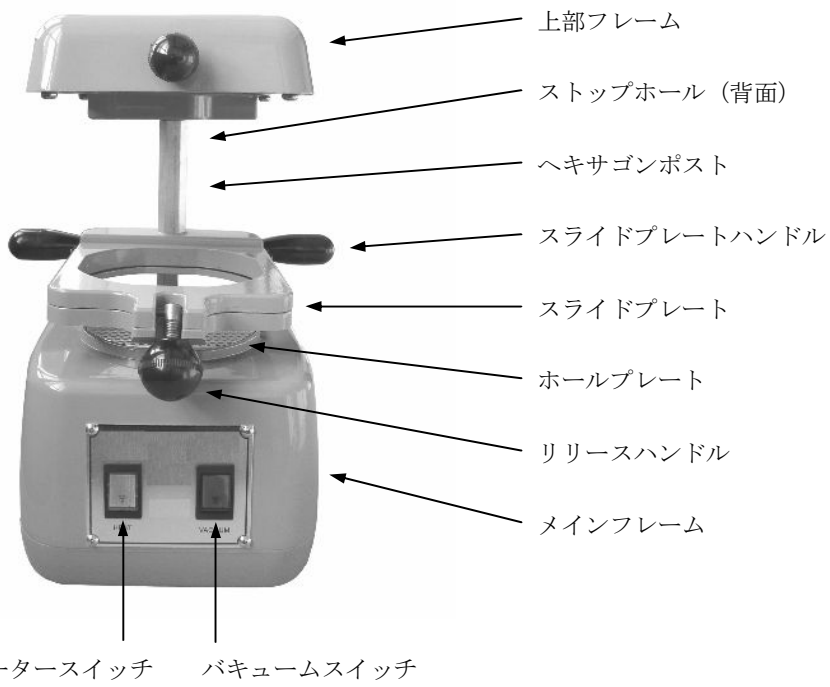
2006年8月3日

バキュームフォーマー

取扱説明書

使用前に必ずお読み下さい

【構　　造】



＜電気的定格＞

電　　源　　AC100V　50/60Hz

消費電力　　（ヒーター）550W　（モーター）1250W

【設置方法】

1　スライドプレートハンドルの取り付け：ハンドルのネジをスライドプレート両脇にある穴にねじ込みます。

2　電源：電気プラグを電源コンセントに差し込みます。

【使用方法】

1　本体背面のスイッチを入れます。

2　リリースハンドルを持ってスライドプレートを開きます。

3　ガスケットをスライドプレートにはさみ入れます。（□タイプ又は○タイプのガスケットを使用します。）
4　リリースハンドルを持ってスライドプレートを閉じます。
5　スライドプレートハンドルを持って、スライドプレートをストップホールの位置まで上げます。
6　模型をホールプレートに置きます。
7　上部フレームを後方に 180 度回転させ、ヒーターのスイッチを入れます。
8　ヒーターが熱くなるまで 2 分～2 分半待ちます。
9　上部フレームを手前に 180 度回転させ、ガスケットが 0.5 インチ（約 13mm）～模型の高さと同等分垂れるまで加温します。（ガスケットの硬さ及び厚さにより調整して下さい。20 秒～1 分間）
10　ヒーターのスイッチを切り、次にバキュームのスイッチを入れます。
11　スライドプレートを下に下げます。
12　ガスケットが吸引され型になるまで 10～60 秒以上待ちます。
13　バキュームのスイッチを切ります。
14　上部フレームを後方に 180 度回転させます。
15　リリースハンドルを持ってスライドプレートを開きます。
16　成型されたガスケットを取り出します。
17　本体背部のスイッチを切り、電気プラグを電源コンセントから抜きます。

【使用上の注意】

使用後は上部フレームやヘキサゴンポストが高温になっているので、冷えるまで触らないで下さい。特にフレーム底部にあるヒーター本体に触れると火傷をするので気をつけて下さい。

濡れた手で本品に触れないで下さい。本体の中に物をいれないで下さい。

ヒータースイッチとバキュームスイッチを同時に入れないで下さい。過度の電流が流れ、電気容量が少ないコンセントで使用する場合はブレーカーが落ちることがあります。

使用後はスイッチが切れていることを確認し、電気プラグを電源コンセントから抜いて下さい。

【清　　掃】

水で湿らせた柔らかい布で機器表面の汚れを拭き取った後、乾いた柔らかい布で拭いて下さい。

【保　　管】

高温や湿気を避けて保管して下さい。子供の手の届かないところに保管して下さい。

保管条件：温度－10～70℃　湿度 10～100%　気圧 500～1060ｈPa

【修　　理】

機器が故障した場合は、弊社カスタマ・サービスデスク（下記）までご連絡下さい。

製造販売業者

フィード株式会社
神奈川県横浜市中区かもめ町７－１
カスタマ・サービスデスク　TEL 0120-004-502

重　要　ご使用前に必ずお読み下さい
医用電気機器の使用上（安全及び危険防止）の注意事項

1. 熟練した方以外は機器を使用しないで下さい。

2. 機器を設置するときには、次の事項に注意して下さい。

a. 水のかからない場所に設置して下さい。
b. 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分等を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に設置して下さい。
c. 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意して下さい。
d. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に設置しないで下さい。
e. 電源の周波数と電圧及び許容電流値（または消費電力）に注意して下さい。
f. 電池電源の状態（放電状態、極性など）を確認して下さい。

3. 機器を使用する前には次の事項に注意して下さい。

a. スイッチの接触状況、極性、ダイヤル設定、メーター類などの点検を行い、機器が正確に作動することを確認して下さい。
b. すべてのコードの接続が正確でかつ完全であることを確認して下さい。
c. 電池電源を確認して下さい。

4. 機器の使用中は次の事項に注意して下さい。

a. 必要な時間・量をこえないように注意して下さい。
b. 機器全般に異常のないことを絶えず監視して下さい。
c. 機器に異常が発見された場合には、機器の作動を止めるなど適切な措置を講じて下さい。

5. 機器の使用後は次の事項に注意して下さい。

a. 定められた手順により操作スイッチ、ダイヤルなどを使用前の状態に戻したのち、電源を切って下さい。
b. コード類の取り外しに際してはコードを持って引き抜くなど無理な力をかけないで下さい。
c. 付属品、コード、端子などは清浄にしたのち、整理しておいて下さい。
d. 機器は次回の使用に支障のないよう必ず清浄にしておいて下さい。

6. 保管場所については次の事項に注意して下さい。

a. 水のかからない場所に保管して下さい。
b. 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、塩分、イオウ分を含んだ空気などにより悪影響の生ずるおそれのない場所に保管して下さい。
c. 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など安定状態に注意して下さい。
d. 化学薬品の保管場所やガスの発生する場所に保管しないで下さい。

7. 故障したときは勝手にいじらず適切な表示を行い、修理は専門家におまかせ下さい。

8. 機器は改造しないで下さい。

9. 保守点検

a. 機器及び部品は必ず定期点検を行って下さい。
b. しばらく使用しなかった機器を再使用するときには、使用前に必ず機器が正常かつ安全に作動することを確認して下さい。